デバイスシミュレーションによる GaN 系ジャンクションレス・トランジスタにおける閾値電圧特性の検証

Investigation on threshold voltage of GaN-based junctionless transistors by device simulation 東京工業大学 ¹、産業総合技術研究所 ²、Yoon Minjae¹、中島昭 ²、角嶋邦之 ¹、片岡好則 ¹、西山彰 ¹、若林整 ¹、名取研二 ¹、筒井一生 ¹、西澤伸一 ²、大橋弘通 ²、杉井信之 ¹、岩井洋 ¹ Tokyo Tech.¹, AIST², M. Yoon¹, A. Nakajima², K. Kakushima¹, Y. Kataoka¹, A. Nishiyama¹, H. Wakabayashi¹, K. Natori¹, K. Tsutsui¹, S. Nishizawa², H. Ohasi², N. Sugii¹, H. Iwai¹ E-mail: yoon.m.ab@m.titech.ac.jp

【背景】 Si をベースとした VLSI (大規模集積回路) は、微細化技術により大きな発展をとげてきた。しかし、近年において、移動度の低下、ショートチャネル効果、及びドーピング制御などの課題が顕在化している。通常の反転型チャネルを有する MOS トランジスタは、ソース及びドレインにおける PN ジャンクションにおいて、急峻なドーピングプロファイルが必要とされる。一方、チャンネルとソース、ドレインの濃度が均一なジャンクションレス・トランジスタ (JLT) が近年において注目を集めている[1]。

Si ジャンクションレス・トランジスタの課題として、高濃度ドーピングによる閾値電圧の変動挙げられる[2]。本報告では、III族窒化物半導体を用いた JLT にける閾値電圧の変動をデバイスシミュレーションにより検証した。

【シミュレーション方法】 本研究では、Fig.1 に示すように、(a) N型 GaN による JLT 構造及び(b) $Al_{0.25}Ga_{0.75}N/GaN$ 構造によるノンドープ構造において 2次元デバイスシミュレーションを行い、チャネルの不純物濃度 (N_D) 及びチャネル幅 (W) の変化に対する閾値電圧 (V_T) の影響について、Si デバイスにおける計算結果と比較した。

【結果・考察】 W=10 nm からの閾値電圧の変動 (ΔV_T) の計算結果を Fig.2 に示す。N型 Si-JLT 及 び N 型 GaN-JLT の不純物濃度 (N_D) は 1.4×10^{19} cm³ であり、AlGaN/GaN-JLT はノンドープである。Fig.2 から、N型 GaN-JLT では、Si デバイスからの差異 はほぼ見られず、チャネル幅 W に対して閾値電圧 が大きく変動する様子が観察された。一方、 AlGaN/GaN-JLT ではチャネル幅の増加につれて閾 値電圧が少し下がっているが、Si デバイスに比べ その変化が小さく、安定していることが分かった。 これは AlGaN/GaN ヘテロ接合界面における分極 による固定電荷密度が AlGaN の Al 組成のみに依 存し、チャネル幅 W に依存しないためだと考えら れる。また、その他の利点として、ノンドープ構造 であるため離散不純物揺らぎも低く出来ると考え られる。より詳細な計算条件及び結果について当 日報告する。

【参考文献】

[1] J.-P.Colinge, "Nanowireless transistors without junctions," *Nat.Nanotechnol.*, Vol.5, no.3, pp.225-229, Mar.2010.

[2] S.-J.Choi, "Sensitivity of threshold voltage to nanowire width variation in junctionless transistors," *IEEE Electron Device Lett.*, vol.32, no.2, pp.125-127, Feb.2011.

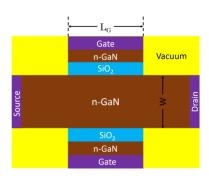
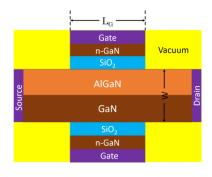


Fig.1 Structure of (a) n-type GaN



(b) nondope AlGaN/GaN

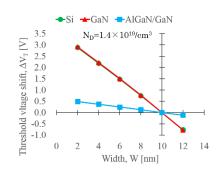


Fig.2 Simulated V_T shift